

# 現代社会 整理ノート解説 No.46 (戦後の国際社会)

後半にアンケートに対する回答を載せています

## ●なぜ、冷戦が起きたのか？

戦後のアメリカとソ連の対立

「戦後、敗戦国を戦勝国でどう支配するか」でアメリカ・イギリスとソ連が会談し対立  
この会談をヤルタ会談(1945年)といいます



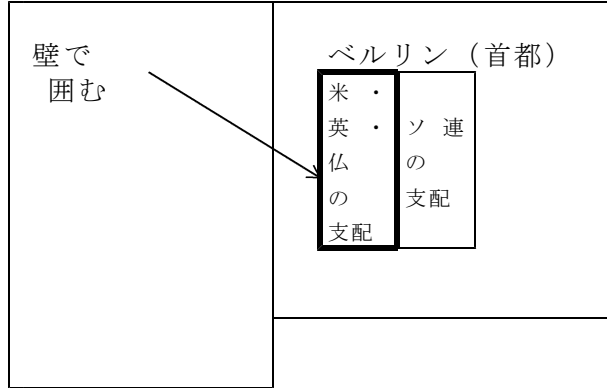
理由：ソ連が隠れて仲間となる国を集めていた

これに対して、イギリスのチャーチル首相がソ連は、鉄のカーテンの向こうで秘密行動をしているという意味の発言をした。これが鉄のカーテン演説(1946年)



ソ連側は、米・英・仏が支配していた西ベルリンを壁で囲んで、通行できなくした  
これをベルリン封鎖(1948年)

西ドイツ(米英仏の支配) 東ドイツ(ソ連の支配)



第二次大戦後、ドイツは東西に分割  
東ドイツはソ連が支配(西ドイツは米・英・仏が支配)  
また、  
首都ベルリンも東西に分割され、東ベルリンはソ連が支配、西ベルリンは米・英・仏が支配していた。

1945年2月第二次大戦中、連合国のアメリカ・イギリス・ソ連の首脳が集まり「戦後の国際秩序作りをどうするか」というヤルタ会談が開かれた。その席上で、ソ連の対日参戦が決まるなど、終戦に向けての動きがかなり具体化した。

ところが、ソ連は日本の攻撃に参加するどころか、全く無関係な東ヨーロッパに進出し、東ヨーロッパを次々にソ連と同じ社会主義国に変えていった。

ソ連の狙いは「おれ達が日本への攻撃に参加すれば、戦争はあっという間に終わる。ならば、今のうちに、どさくさ紛れに社会主義の国を増やして勢力拡大したいほうが得だ」  
その狙いに、アメリカは怒ったと予想できる。

その後、ソ連が秘密のうちに何か行動しているというチャーチルの「鉄のカーテン演説」に対し、ソ連は米・英・仏を困らせるためにベルリン封鎖を行った。1950年には朝鮮戦争でも対立し、1989年のマルタ会談まで冷戦は続いた。

## ●なぜ、冷戦が少し緩んだのか(緩むことをデタント)

主要国の話し合い・・・1955年四巨頭会談(対立のデメリットを話し合う)

### 両グループ(米ソとも)の弱体化

○ソ連側

- ア.ソ連グループ内の各地で反社会主義(反ソ連)運動
- ハンガリー(ハンガリー動乱) 1956年 ソ連が軍隊派遣で運動を抑える
- チェコスロバキア(プラハの春) 1968年
- イ.仲間割れ
  - ソ連・・・アメリカと仲良く(リーダー交代により方針転換)
  - 中国・・・徹底的に対立していく

中ソ論争  
1960年代

○アメリカ側

- フランスが軍事同盟(NATO)を脱退・・・アメリカが、核実験(フランスが困る)条約を結んでいた
- 核実験を地下だけ許可するという条約
- アメリカは地下核実験ができるが、フランスはできない

### 対立緩和の最大の要因

「このまま対立を続けると、地球滅亡かも」と思わせる事件・・・1962年キューバ危機  
核戦争寸前までいった→このあと首脳同士が直接話せる電話開設(ホットライン)  
しかし、  
\* 1979年にはソ連がアフガニスタンへ侵入するなど対立が時々起きた(順調ではない)

冷戦が緩んでいく理由は3つあります。1つ目は、ソ連のスターリンという指導者が亡くなりアメリカとの関係を考え直そうということで、アメリカ・ソ連が接近しました。

2つ目の理由は、アメリカ側・ソ連側とも内部で衝突が起きたことです。ソ連側のチェコスロバキア・ハンガリーでは社会主義に反対する運動が起こり、ソ連軍が中心となり武力で抑える事件がありました。これをそれぞれプラハの春・ハンガリー動乱と言っています。ソ連側はほかにも、中心となるソ連と中国がアメリカの対応方針をめぐって対立しました。これを中ソ論争と言います。

アメリカ側では、フランスが地下核実験ができないことを知っていて、アメリカが地下核実験だけはやってよいという条約(部分的核実験禁止条約)を、世界の国と結んだことにフランスは怒りNATO軍から脱退しました。

3つ目はキューバ危機です。これは米ソが核戦争寸前までいった事件です。もし、核戦争になったらどうなるかを想像したとき、仲直りの道しかないと思ったのかもしれない。

以上、3つの理由などが対立が緩ませるきっかけとなりました。

## ●植民地だった国々の動き

1960年から次々独立

(1) きっかけ

1955年 **アジア・アフリカ会議** (植民地支配をされている地域の会議)

決まった事→・平和のためのルール作り (平和10原則)

・植民地を独立させていく

↓  
1954年周・ネルー会談の**平和五原則**を参考

(2) 独立

1960年アフリカの国々が次々独立 (**アフリカの年**)

## ●なぜ、冷戦は終結したのか？

ソ連が経済的に苦しくなり、仲間である国々への口出しをやめる (自国のことで精いっぱい)

(方針転換：**ゴルバチョフ書記長**)

↓  
反社会主義運動激化 (それまでならソ連軍に抑えられていた)

↓  
1989年 勝手に国民がベルリンの壁壊す (すぐに**米ソ首脳会談**)  
これが**マルタ会談**

アンケートからの質問に対して

・テスト範囲について

今回の課題の中で、最初の公害・消費者問題は試験範囲に入れます。  
その他、国際政治については未定です。国際経済は今回は入れません。  
(説明に時間がかかるため)

・授業について

休校前の続きから始めます。

・どういうテスト問題が出るのか？

まだ未定です

・答え合わせはしなくてよいのか？

今回解答を配布したので、各自で行ってください

・整理ノートのメモ欄に自分でまとめてもよいのか？

どんどん使ってください。真っ黒になるまでどうぞ

・解答が欲しい

遅くなりましたが、登校日に配布しました。  
(休んだ人は、担任の先生に連絡してください)

・解答を赤で書いてもよいのか？

何色を使っても構いません

・教科書の最後のほうの宿題の内容は暗記しておくべきですか？

テスト範囲が未定なので迷惑をかけますが、国際経済のところは今回のテストには出しません。

・条約がなかなか覚えられない

そうですね。覚えにくいものがたくさんです。なぜ、そのような条約ができたのか因果関係を含めて考えると、記憶に残りやすいと思います。